


ふりがな 氏名	すぎた かほ <b>杉田 果穂</b>	都道府県	岡山県	
所属/肩書	岡山大学教育学部学校教育教員養成課程特別支援教育コース			
私のESD活動	ユネスコスクールの高校生と共に学び、ESD実践力を 培うESD学習会におけるサポート			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

私は、2014年に岡山で開催されたユネスコスクール世界大会高校生フォーラムにおいて、大学生スタッフとして参加させていただきました。出身高校がユネスコスクールであったことやESDに関心を持っていたことがきっかけです。この世界大会に向けて、約1年間という準備期間の中で岡山・大阪の高校生、大阪市立大学の学生、高校の先生方、岡山市ESD推進局の方々と連携し、数十回にわたる準備セミナーを行っていく中で、「ESDってなんだろう？」というテーマに真摯に向き合う高校生の姿を見ることができました。そして、教師でもなく、同学年でもない、大学生という立場からどのように高校生にアプローチしていけば良いのか、どういった役割があるのか、ということをお市立大学の学生とミーティングを繰り返し行いながら話し合いました。主に大学生の役割としては、準備セミナーにおける会場設営、状況の把握・連絡、高校生へのアドバイス、雰囲気作りなどが挙げられます。高校生と歳の近い大学生だからこそできる関わりを、大学生一人一人が考え実行することができたと思っています。当日は、34か国の高校生と、日本からは8県にわたる高校生が集結し、白熱した素晴らしい世界大会を作り上げることができました。この経験は私にとって、本当に誇り高きものとなりましたし、多くの人と人がつながり、一つのことに向かって一生懸命に共に取り組むことの素晴らしさを改めて実感することのできた瞬間であったと思っています。

ESD活動をさらに深めるために、今後どのような活動を展開していこうと考えていますか？またESD全体（地域や日本国内、国際）の発展にどのように貢献したいと思いますか？

- (1)ユネスコスクールのESD学習会・・・ESDの考え方や取り組みを多くの高校生が知り、考えてほしいと思っています。「ESDについてもっと知りたい！」「こんな取り組みをしてみたい！」と、一人でも多くの高校生に思ってもらえるよう、大学生という立場から高校生に語ることでできるメッセージがあると思っています。私自身も学び続ける姿勢を忘れず、高校生たちにその思いを伝えていきたいです。
- (2)教師として学校現場に出た際に取り組みを行うこと・・・具体的な活動内容は申し上げにくいですが、人権教育や国際理解教育などに尽力していきたいと考えています。特に、私は国際協力に関心があり、青年海外協力隊への参加を希望しています。どの地であっても、私の学びや実践を生かすことができるよう、継続的に学び続けていきたいです。
- (3)現在所属しているサークル活動・・・私は岡山大学国際医療勉強会ILOHAという団体に所属しています。高校3年生の夏、JICA高校生派遣プロジェクトにおいて、ラオスに訪問したことがきっかけで国際協力に関心を持つようになり、1年生の頃から世界のさまざまな分野における学習やフィールドワークを行ってきました。自分とは異なる考え方をもつ部員から多くの刺激を受け、広い視野で物事を考えることができるようになったと思っています。まずは同学年のメンバーや後輩に私のこれまでの学びを伝え、今後のサークル活動が世界の誰かのために役立ってほしいと考えています。